

平成30年度 などでしこ保育園 全体的な計画

[H30. 3. 31]

<p>保育理念 (事業運営方針)</p>	<p>命を守り、丈夫な体と健やかな心を育むために、職員の専門性と和をもって家庭との連携を基に子どもの発達と保護者の支援を行う。また多くの卒園児とその家庭との信頼関係の中で地域に根ざした保育園を目指す</p>						<p>保育目標</p>	<p>① 思いやりのある子 ② みんなと仲良く遊べる子 ③ 意欲のある子 ④ 話を聞ける子 ⑤ 自分の気持ちを伝えられる子 ⑥ 考えて行動できる子</p>	<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10項目 ア:健康な心と体 イ:自立心 ウ:協同性 エ:道徳性・規範意識の芽生え オ:社会生活との関わり カ:思考力の芽生え キ:自然との関わり・生命尊重 ク:数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ:言葉による伝え合い コ:豊かな感性と表現</p>
<p>保育方針</p>	<p>かけがえのない乳幼児期に安定した園生活が送れるように子ども一人ひとりと向かい合った保育を進める</p>								
<p>保育の特徴</p>	<p>かわいがり保育(甘えを受容し、肌の触れ合いを通し応答的に子どもと関わる)</p>			<p>よりそい保育(自分でやろうとする気持ちを認め、思いに共感したり見守りながら子どもに関わる)</p>					
<p>クラス</p>	<p>0歳児クラス</p>		<p>1歳児クラス</p>	<p>2歳児クラス</p>	<p>年少クラス</p>	<p>年中クラス</p>	<p>年長クラス</p>		
<p>年齢 (～の時期)</p>	<p>0歳 (応答的な肌の触れ合いの時期)</p>		<p>1歳 (応答的な手助けの時期)</p>	<p>2歳 (応答的な伴走の時期)</p>	<p>3歳 (応答的な見守りの時期)</p>	<p>4歳 (共感的な手助けの時期)</p>	<p>5歳 (共感的な伴走の時期)</p>	<p>6歳 (共感的な見守りの時期)</p>	
<p>年齢別 保育目標 (0～年長児)</p>	<p>個人差に応じた生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き、情緒を安定させる</p>		<p>探索活動を十分し、周囲の人や物への興味関心を広げ、意欲へとつなげる</p>	<p>喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や観察力を発揮して遊びを広げることができる</p>	<p>・友達との関わりの中で保育士の仲立ちにより相手の気持ちに気づき共感できる</p>	<p>・友達や集団での遊びを通して他人の存在や立場を知り、思いを共有し合い、解決しようとする</p>	<p>・自分の気持ちを言葉で表現できるようになり簡単なルールや決まりを守りながら友達関係を築き集団行動ができる</p>	<p>・生活や遊びの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動し、達成感や充実感を味わう ・相手の気持ちを察したり自分</p>	
<p>養護</p>	<p>生命の保持 生理的欲求を満たし、1日24時間を視野に入れ安定した生活リズムを作る</p>	<p>健康で安全な生活ができるような環境の中で、応答的な関わりを通して生理的欲求を満たされるようにする</p>	<p>安定した園生活を送る中で、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする</p>	<p>依存から自立の時期なので身の回りのことなどやり方を覚え、保育士が手伝いながら自分でできるようにする</p>	<p>保育士との安定した関係の中で基本的な生活習慣が身につくようになる</p>	<p>基本的な生活習慣を身につけ意欲的に生活できるようにする</p>	<p>基本的な生活習慣が身につく、見通しを持って生活できるようにする</p>		
<p>情緒の安定</p>	<p>応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する</p>		<p>子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を築く</p>	<p>・自己主張を自我の順調な育ちと理解し、さりげなく援助する</p>	<p>・心身の状態に応じてきめ細やかに対応し意欲的に活動できるようにする</p>	<p>・子どもが主体的に活動し、自分への自信や自己肯定感を育めるようにする</p>	<p>・保育士との信頼関係を基盤に一人一人の子どもが主体的・自発的に活動できるようにする</p>	<p>・就学を意識した生活の中で自己肯定感が育ち仲間との一体感を感じながら自信を持って活動できるようにする</p>	
<p>教育</p>	<p>3つの視点 健康やかに伸び伸びと育つ《身体的発達》 ・寝返り、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、伝い歩き、一人立ちの段階を踏んで歩行に繋げる ・園生活を通して食事、睡眠、遊びなど生活リズムの育ちを促す</p>	<p>5領域 健康 人間関係 保育士との安定した関係の中で、身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に他の子ども</p>	<p>・便器に座ることに慣れ、自分で排泄ができるようになる ・色々な道具・教材に触れ、全身や手指を使う遊びをたくさん経験する</p>	<p>・健康的な生活のリズムを身につける ・外で十分に身体を動かす、様々な道具や用具を使って遊ぶ</p>	<p>・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を自分でする ・固定道具や全身を動かす運動に興味を持ち、沢山経験する</p>	<p>・健康的な生活の仕方を知り、見通しを持って行動する ・様々な道具を使い、複雑な運動やルールのある集団遊びを通して身体を動かす</p>	<p>・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・生活のけじめをつけたり、健康に過ごすための体力作りの必要性に気づき自分で意識して身体を動かす</p>		
<p>身近な人と気持ちが通じ合う《社会的発達》</p>	<p>環境 保育士との応答的な関わりにより基本的信頼関係が生まれる</p>		<p>安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して様々な感覚の動きを体験する</p>	<p>・保育士の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身につける</p>	<p>・身近なものに興味をもって関わり、大切にしようとする気持ちをもつ</p>	<p>・身近な物や道具に興味を持って関わり考えたり試したりして、工夫して遊ぶ</p>	<p>・日常生活の中で、数量や図形、簡単な標識や文字に関心をもつ</p>	<p>小学生や地域の人のかかわりを通して、自分の生活に関係の深い情報に興味や関心をもつ</p>	
<p>身近なものと関わり感性が育つ《精神的発達》</p>	<p>表現 保育士と一緒に歌やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ ・水、砂、土、紙、粘土等様々な素材に触れ感覚を楽しむ</p>		<p>・保育士を仲立ちとして、友達との言葉のやり取りを楽しむ ・生活に必要な簡単な挨拶が保育士と一緒に言える</p>	<p>・自分の思いを言葉で伝えようとする ・子ども同士、簡単な会話を楽しむ</p>	<p>・考えたことや感じたことを音や動きなどで表現したり、自由に描いたり作ったりする ・簡単なリズム楽器を使って音楽に親しむ</p>	<p>・さまざまなイメージを膨らませ、描いたり形にしたりし、できたら友達にり、自由に見せ認め合う ・友達とひとつの物を創り上げる楽しさを味わう ・楽器の使い方を知り表現することを楽しむ</p>	<p>・感じたこと、想像したことを音楽、造形など自由な方法で豊かに表現する</p>	<p>・どのように表現したら相手に伝わるか理解して伝えようとする ・共通の目的に向かって友達と一緒に創り上げることを楽しむ ・身近な社会や自然現象への関心を深め、その不思議さや感動に様々な</p>	
<p>食を営む力の基礎</p>	<p>自分で食べようとする気持ちを持って、食べることに楽しさを感じられるようにする *年間食育計画参照</p>		<p>・食生活に必要な習慣や態度を身につける ・生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しむ</p>	<p>・食生活に必要な習慣や態度を身につける ・生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しむ</p>	<p>健康と食べ物との関係について知る</p>	<p>自分の健康に関心を持ち様々な食材を進んで摂ろうとする</p>	<p>・食材と身体との関係を知り興味を持てるようにする ・意欲を持って食に関わる体験を積み重ね食べることを楽しめるようにする</p>		